

# インターネットへの フロントエンドを ブラウザ通作法で提供。 ここまでやるか？ のワイプロWWW。



## 第4回 ASAHI ネット編



例によってインターネットマガジンの広告ページを開き、見当をつける。

bps : bit per secondの略。データの転送速度の単位。

◎連載開始以来の伝統、ここに破れる？

ついにないだ原稿をメールしたような気がしてたら、またもや締切が近づいてきた。いつものように担当編集者と相談の結果... ..といっても「あ、今月はあそこ。よろしくね」「ふぁ～い了解」のふたことだけが.....今月はASAHI ネットの探検だ。例によってインターネットマガジンの広告ページを開き、見当をつける。

まず広告に曰く「新しくダイヤルアップIP接続サービスをスタート」。「付加料金なし」.....よしよし、こうじゃなくっちゃね。

次いで「ワイプロでもアクセスできるWWW」.....げ、なんだこれ？ う～む、不可解。ま、私は関係ないけど、ちょっと後でチェックすることにしよう。

さらに曰く「ダイヤルアップIP接続でネットサーフィン自由自在」.....なんか気恥ずかしいもんがあるな。そいで.....「付加料金なしの28800dps、14400dps」？ん？これって「bps」の誤植だよな、きっと。

けど、待てよ.....あ、なに！？ ひょっとしてここんちはISDNのモードがないのか？と、よく読んでみると、確かにINS64の記述がない！ た、たいへんだあ～。ついにこの伝統（どこが？）のデジタル回線企画もアナログに逆戻りだ。う～ん、「ワイプロでアクセスできるWWW」あたりで、なんか時代に逆らってるような（失礼）気がしてたんだが.....。

というわけで、担当編集者に気軽に「いいっすよ」と答えたものの、じつはISDN探検隊以来の伝統を破って、今回は初めてアナログ回線のダイヤルアップ接続に挑戦することになってしまったのである。ぐやじい～。これも編集者の陰謀か.....？

こうなるとやっぱし、問題はモデムである。私は“今となってはふつー”の144のモデムしか持ってない（ふつー、この業界では「いっちょんちょん」と発音するのである。ついでだが「288」は「にいばつぱ」である.....なんだかねえ）。しかも、こいつの調子がどうもおかしい。周りのモデムがどんどん新しくなるにつれて、どんどん駄目になっていく気がする.....気のせい？

ふつう、こういう不都合のツケは編集者に行くことになる(へへ)。「ま、時代はデジタルだけさ~、288の実効速度がどれくらいか、試してみるのもいいんじゃない?」という話になって、編集者がSony製の28800bpsのモデム(V.FAST / MNP10 / V.42bisという豪華仕様)を調達してくれた。しかし、こっちのほうが実際の使用感が速かったらどうしよう.....と一抹の不安を感じながら、いざ出発。

### ⑥ まずは登録用IDで オンラインサインアップ

広告にのってる電話番号に登録用IDでアクセスしてみると、「ゲストメニュー」が表示される。

まずは「入会案内」から「当ネットのご紹介」を読んでみると.....

氏名・居住地域公開で、信頼ある意見交流と情報交換を実現しています。

「交流と創造」を理念に、出版などのメディアミックスを追求しています。

パソコン通信による本格的な文学新人賞<中略>など、文芸関係のメニューが充実しています。

インターネット接続が最も充実したネットです。E-Mail、FTP、NetNews、Telnet、Archie、Finger、Whois、WWWアクセスなどをフルサポートしており、全世界から多様な情報を入手でき、地球規模のコミュニケーションを実現しています。

Mosaicなどでネットサーフィンを楽しめる「ダイヤルアップIP接続」も基本サービスとして通常料金で提供しています。

朝日新聞ニュース、朝日新聞英文ニュースが付加料金なしで読め、朝日新聞記事データベースも分40円という低価格で提供しています。

.....など、やはりパソ通(しかも文芸関係中心?)をベースに、インターネット接続サービスというスタイルのようだ。でも、

朝日新聞ニュースが付加料金なしで読めるのはおトクだね。

野次馬根性で、どんなメニューがあるかをのぞいてみると、あるある。「文芸/電脳作家倶楽部」や「句会ネット」、BBSは「創作・研究」から始まって「音楽・芸術」「本・雑誌」「社会・自然環境」「文化・生活」「地域・国際交流」「科学・技術」「コンピュータ」「趣味・娯楽」「車・スポーツ」「フリートーク」まで、しかもそれぞれ10~20程度の分科会がある。全部書いたらそれだけで記事が終わってしまいそう。

さらに、ライブラリーやファックス送信に加えてニュース、かなりの出版物をカバーしたデータベースまで揃っている。こちらは1分10円から最高400円程度の付加料金で利用することができる。

ひえ~、恐るべし“ボード横ならび”パソコン通信.....なんとかが早いとこ、こんなもんウェブでスラスラ見れるようにならないもんか? だって、あっちのほうがビジュアルだし便利なんだも~ん(ワガママ)。

### ⑥ オンラインサインアップで 即ID発行かと思ったら

ちょっと寄り道が過ぎてしまった。もとに戻って「入会金および会費」の項目をチェックすると、会員は「一般会員」と「家族会員」「法人課金」に分かれていて、「一般会員」は.....

入会金	3,000円
会費 月間利用時間2時間まで	1,000円/月
月間利用時間2時間を超過した分	10円/分
会費の上限	10,000円/月
電子メール、データベースなど一部メニューは対象外です。	
(預金口座引き落としの場合、入会時に事務手数料500円)	

.....ということ。決済手段はクレジットカードが銀行口座振替である。



編集者がSONY製の28800BPSのモデムを調達してくれた。



おっ付加料金なしで朝日新聞ニュースが読めるぞ

V.FAST: モデム用のチップセットを開発しているRockwellが提唱した通信方式。28.8Kbpsまでサポートできる。ただし、ITU-TSがV.34として標準化した28.8Kbpsの通信方式とは互換性がない。

MNP10: 米国Microm社が自社のモデム用に決めたエラー訂正と圧縮のプロトコル。MNPには、1から10まであり、MNP10は移動体用のプロトコルである。

V.42bis: ITU-TSが勧告しているモデムによるデータ圧縮の方法。

Archie: anonymous FTPサイトのファイルインデックスを検索して、必要なファイルを捜すコマンド。

Finger: UNIXシステム上のユーザー情報を検索するコマンド。ログイン名、ホームディレクトリ、最終ログイン日時などがわかる。

Whois: ネットワーク情報センター(nic)に登録されている情報(ドメイン名、IPアドレス、ネームサーバーなど)を検索するコマンド。



「オンラインサインアップ」即「正規IDで利用」とはならないわけ。残念なり。



受付番号は、IDが届くまで大切に保管してください。

無手順：通信で用いられるデータの伝送制御手順の一種。制御用の特殊な符号やシーケンスはない。

TCP/IP：インターネットが使っている通信プロトコル。

ほぼ～、会費の上限って月1万円なんだ～。ラッキー！ と思っただが、実はダイヤルアップIP接続は「一部メニュー」に含まれて、やっぱり「対象外」なのである。

「加入手続き」のところを見ると……

(2) IDおよびパスワードの発行

クレジットカードご利用の方の場合、クレジットカードの照会終了しだい、正規のIDとパスワードをお送りいたします。(ほぼ1週間以内)

……となっているではないか。

う～ん、これじゃ「オンラインサインアップ」即「正規IDで利用」とはならないわけね。残念なり。

さて続いて、「アクセスポイント一覧」を見る。と、このネットには3種類のラインがある(Aライン=300～28800bps対応で5カ所、Iライン=300～9600bps対応で89カ所、Dライン=ダイヤルアップIP接続専用、東京のみで実験運用中)。

Iラインのうち9600bps対応の9ヶ所は1分あたり10円の付加料金がかかるが、それ以外は付加料金なし！ 他のパソ通系のインターネット接続がWWWへのアクセスを提供してないのに、あえて通常料金だけでIP接続を提供。かなりのイレコミようである。う～む、無手順でTCP/IPの権化に勝負をかけるとは……なんちて、生半可な知識を駆使して想像してみると、その究極の策略が冒頭の広告コピーにもあった「ワープロでもアクセスできるWWW」か？ ス、スゴい。スゴすぎるんじゃないかい？

⑥ 質問項目は結構多いが親切丁寧

ともあれ、まずはサインアップしなくっちゃ。というわけで「ゲストメニュー」の中から「4. 申し込み」を選ぶ。すると例によって「確認A【会員規約を承認していただけですか?】」と聞かれてしまうので、またトップに戻り、「3. 会員規約」で規約を読

んでから(実際にはダウンロードして見るほうが楽)再度ここに戻り、選択肢から「1. 承認する」を選んでサインアッププロセスの開始だ。

「質問1」の苗字から始まって「質問22【ASAHIネットを何でお知りになりましたか?】」まで、もちろんクレジットカード番号などを入力する項目もある。銀行口座からの引き落としも選択できるが、こちらは「登録事務手数料として500円(消費税別)」が入会金とともに引き落とされる。

入力が終わるたびに……

「村野」ですね。よろしければ次に進みます。確認：1. 次の質問へ 2. 入力し直す 3. 申し込みを中止する 番号を：1

……と確認してくれるので安心と言えば安心である。

「ご案内」のところに書いてあるように、このサービスは「氏名・居住地域公開」なわけで、質問項目の「(非公開)」と書かれているところ以外は全部公開される(?)。余談だが「お使いの端末の画面の表示行数」は非公開である。なんかへんかも。

入力が終わると、全部のデータが表示されて再度全体の確認を求められた後で……

このお申し込みに関するお問い合わせの際には、以下の受付番号をお申し出ください。メモを取り、IDがお手元に届くまで大切に保管してください。

……というわけで、12桁の数字が出てくる。これでサインアップは終了。後は「事務手続き完了後、IDとパスワードを郵送」を待つだけである。

⑥ ダイヤルアップIP接続の前に

アバウト1週間ほどで、A5判170ページほどの「アクセスガイド」とユーザーID、パスワード、アクセスポイント一覧、メニューマップなどが送られてくる。

「アクセスガイド」は簡便ながら、なかなか充実（じつはオンラインの説明と同じ）していて、インターネットについても、ちゃんと章が割かれている。「fj記事全文検索」という機能もあって、これはなかなか使えそうだ。

「ダイヤルアップIP接続」のページを開くと……

ダイヤルアップIP接続を利用するためには、ASAHIネットの中の「IP接続申込」でIP接続を申し込んでいただく必要があります。このさい「IP接続に関する留意・承諾事項」を必ずご覧ください。

……と書いてあって、より具体的な接続手順については「PPP接続広場」の中にある「PPP接続ガイド」を読むようにとのことだ。よし、そいじゃまずは普通のパソコンで入って、その設定をば……と思って送られてきたIDを見ると、なんと、これが英数字8桁の組み合わせだ。う～ん、「氏名・居住地域公開」なんだから、もちょっとフレンドリーなIDは貰えないもんか。

## 非常に充実したインターネットの解説

それはともかく、とりあえずパソコンでASAHIネットにアクセスすると、最初の画面に……

PPP接続の方は新しいIDラインをお試しください（くわしくはjnet.new, #447, #450）高品質で快適な通信を付加料金なしでお楽しみいただけます。

……というお知らせが出てくるので、まずはここを探検してみることにする。

で、どうやってそこまで行くのか……というと、トップメニューのところ「jnet.new」と入力すればいい。

着いたところは「事務局からのお知らせ」。ここの「#447」と「#450」を読んでも……

PPP接続でDラインに接続すると、PPPドライバの設定などを変更する必要があります。ログイン手順が不要になり、ユーザーIDの先頭のPPP/も不要になります。詳細は「PPP接続広場 / PPP接続ガイド」(ppp/guide)の1番及び10番～13番をご参照ください。

……ということなので、やっぱりトップメニューからまっとうなコースで行くしかないみたいだ。

「ダイヤルアップIP接続」は……

1. IP接続に関する留意・承諾事項
2. IP接続申込
3. PPP接続広場
4. POP3利用設定
- 5【インターネット接続】

……となっているので、まずは「1. IP接続に関する留意・承諾事項」を読んでから「2. IP接続申込」で接続申込をする。そして、さらに「3. PPP接続広場」へ。

「PPP接続広場 / PPP接続ガイド」には「ダイヤルアップIP接続の基礎知識」「モデムに関する注意事項」「【Mac】必要なソフトの例」「【Mac】MacTCPとMacPPPの設定」「代理（Proxy）サーバについて」「ブラウザの日本語対応について」などの記事がある（もち、【Windows】ものもある）。「Config PPPの設定」についても、2400bpsのようなスピードの遅いラインへの接続ではどのようにウェイト（待ち時間）をかけるか、つまりコネクト・スクリプトを書くかまで、細かに説明されている。う～ん、偉い！

というわけで、いつもならここで私がぐちゃぐちゃと設定方法を書くんだけど、今回はスクリーンショットの方を参考にして、とてもよくできたASAHIネットの説明文をダウンロードして読んでほしい。

だけど、ま、このページにたどりつのがちと大変、ということは否定できないので、ASAHIネットには是非ともこのドキュメントを見やすい場所に置くか、あるいは「アクセスガイド・インターネット編」あたりを提供してもらいたいものである。



ダイヤルアップIP接続を利用するには、ASAHIネットの中で申し込まなくては行けない。



申し込みが終わったらPPP接続広場へ行って必要な情報をダウンロードしよう。

PPPドライバ：Point to Point Protocolをサポートするドライバ。ChameleonやTrumpet Winsock、MacPPPなどがこれにあたる。ただし、ChameleonなどはPPPドライバにユーティリティを組み合わせた商品である。

POP：サーバとクライアントの間でメールをやり取りする方法。EudoraやWinBiffなどは、このPOPサーバとやりとりしてメールを手に入れる。

Config PPP：MacPPPの設定を実行するファイル。システムフォルダのコントロールパネルフォルダの中に置かれている。



288はけっこう安定してて、しかも速い。

ANSI : American National Standards Instituteの略。米国の工業分野の標準を決める協会。日本のJISにあたる。  
alt.ascii-art : ニュースグループの名前。

## ◎ ここまでやる？ のテキスト WWW

ま、そんなこんなでウェブへの接続はバッチリ。結構安定してて、しかもグヤジイくらいに速い。ひょっとしたらINS64の非同期より速い……って、そんなの困るんですけどお~。通話料金の夜間割引なんかを考えると、マジで288モデムのアナログ接続もいいかもしいかなと考え始めてしまった……とほほ。

それにしても気になるのは「ワープロでもアクセスできるWWW」である。

簡単に書いておくと、どうやらHTMLで記述されたウェブのページをASAHIネットの側がフィルターして、パソ通端末にキャラクター表示するものようだ。画面内のリンクは数字で表示されるので、ユーザーはこの数値を入力することでリンク先にジャンプすることができる。

で、当然気になるグラフィックスだが、端末設定で「ANSI」が画面制御なしの選択が可能。また画面内のイメージをダウンロードして、後でPC上で展開するという仕組みも実現している。

もっとスゴイのが、画像表示機能を持たないワープロ専用機で文字を使って映像を表示するプレビュー機能！「alt.ascii-art」あたりでやってるキャラクター画像表示みたいなものである（画面の版面権の問題なんてないんだろうか？）

ま、現実にはワープロ画面は表示できる文字数が少ないから、実用性は？だし……なんかパッドチューニングな気がする。普通、ここまでやる人は少ないだろうな~。でも、これはこれで地方在住、IP接続は出来ない、ブラウザもない、回線は遅い、という環境でウェブしたい人にとっては、オツケーな仕組みかも知れないし~、という気もする。

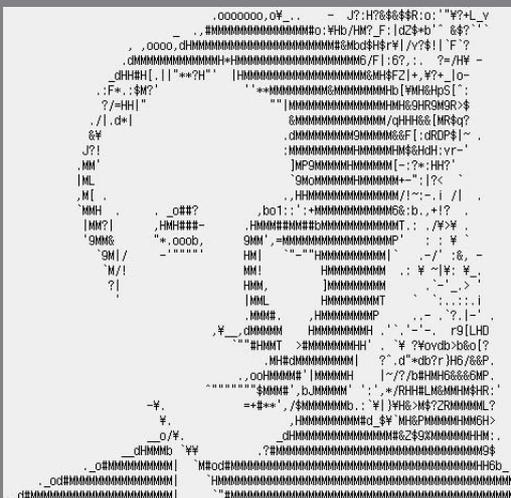
しかし、「ワープロでWWW」とか、パソ通方面は「文芸関係が充実」とかを考えてみると、ここんちはワープロ世代というか「文字」にコダワリのある層をターゲットにしてんのかな？ まあ、ビジュアル好きにしてみれば、「なんでこんなことまでして？」と考えてしまうけど、それなりの理由があるのだろう（オトナの発言？）

それにしても、日本のパソ通も大変なところにいるもんだわい……とため息をつきながら今回の探検を終わったのであった。

## ワープロでみるWWW



【Netscape でみた“村山首相”  
(<http://www.kantei.go.jp/gifs/murayama.gif>)



パソ通ダム端末でみた“村山首相”のプレビュー画面

## MacTCPの設定

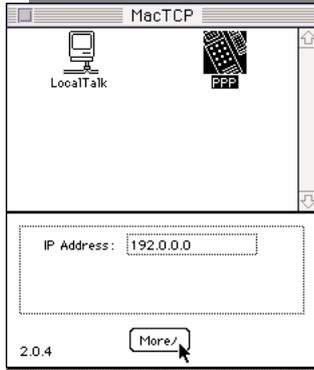


図1

MacTCPの画面内に表示される[PPP]のアイコンをクリックして、PPPを選択した状態にし、画面下方の[More]をクリックすると、IPアドレス設定画面に切り替わる。

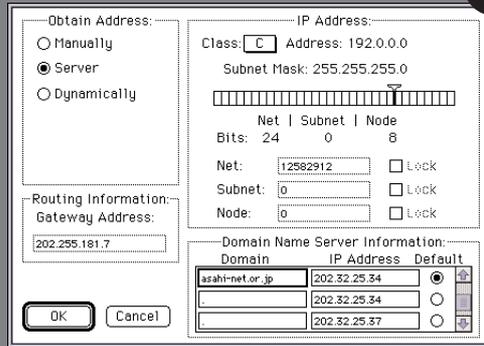


図2

「Obtain Address」を「Server」に設定。  
「Gateway Address」「IP Address」は設定しない(何でもよい)。  
「Domain Name Server Information」は「Domain」を「asahi-net.or.jp」に、「IP Address」は「202.32.25.34」にして「Default」欄を設定。2行目と3行目の「Domain」は「.」にして図のようなIPアドレスを入れる。設定が終わったら「OK」をクリックし、続いてシステムを再起動する。

## Config PPPの設定

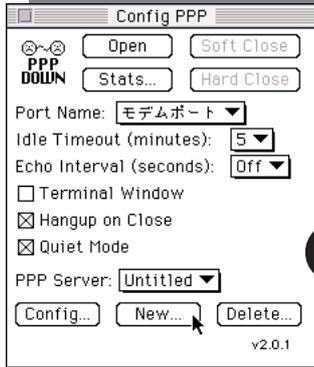


図3

「Config PPP」を図のように設定し、[New...]をクリックすると、「PPP Server Name」を入力するウィンドウが開く。



図4

「PPP Server Name」として「asahi-net」を入力し、[OK]をクリック。



図5

「PPP Server」が「asahi-net」となっている状態で[Config...]をクリックすると、新たな設定画面に切り替わる。

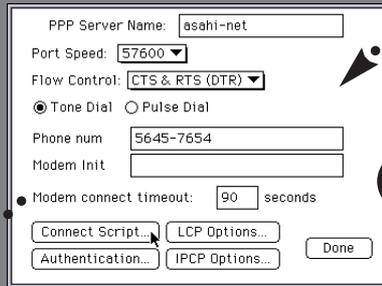


図6

「Port Speed」「Flow Control」「Tone Dial, Pulse Dial」などを、図を参考に使用モデムにあわせて設定する。「Port Speed」は、モデムとパソコン間で可能な最も速い速度に。次に[Connect Script...]をクリックすると、ログイン手順設定画面に切り替わるが、Dラインの場合は【図7】のように設定するだけでOK。

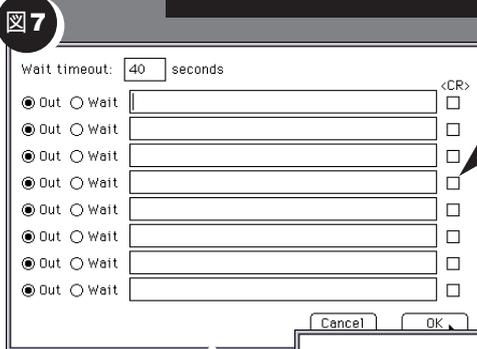


図7

図8

【図6】の画面に戻り[LCP Options...]をクリックすると、LCPオプション設定画面に切り替わるので[Default Settings]をクリック。

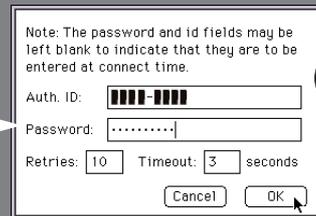
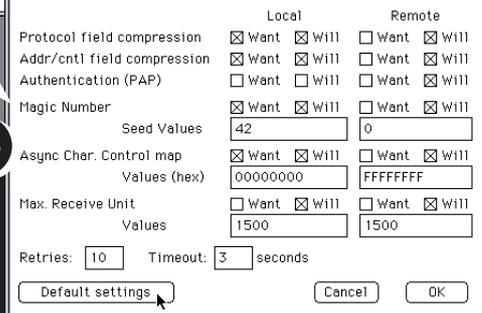


図9

Dラインを設定する場合は、【図6】の[Authentication...]をクリックし、「Auth. ID」には、自分のユーザIDを「Password」には、自分のパスワードを指定する。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)